



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者  
執行委員長 針谷 歩

2022/3/9 No.87

ロシア軍によるウクライナへの軍事行動を許さない特別決議 ~~(案)~~

2022年2月24日、国際社会の警告を無視してロシアがウクライナへ軍事侵攻を開始した。主権国家に対するあからさまな侵略である。国連の常任理事国でもある大国の蛮行は、第2次大戦後に築かれた国際秩序の基盤を根底から揺るがしている。私たちJR東労組はいかなる理由があろうとも武力による支配介入を許さず、多くの人が犠牲になる軍事行動に断固抗議する。

ロシアのプーチン大統領は、アメリカ主導の北大西洋条約機構（NATO）の「東方拡大」は、ロシアの脅威であると語り、今回の軍事行動はウクライナ国内のロシア系住民の保護が目的であると正当性を主張している。さらに核兵器の使用も辞さない構えを示唆し、国際社会の批判や制裁を牽制している。報道ではすでに多くの犠牲者が生まれ、日を追って戦火が拡大し多くの人の命が危険にさらされている。日本の海運会社所有の船舶も砲撃を受け損傷したとの報道もある。ロシアは一刻も早く軍事行動を停止しウクライナから撤退するべきだ。

日本は国際社会と連携し、ロシアに対し「個人、団体に対し資産凍結とビザ発給停止」「金融機関を対象とした金融分野の制裁」「軍事関連団体への国際的合意にもとづく規制リスト品目や半導体などの輸出の制裁」の経済制裁の追加を決定した。一方で国防力の強化を煽り、自衛隊を国防軍にし防衛費を増額して核兵器の配備を図り、敵から主権、国土を守るべきだと言う世論を形成したい輩がうごめいている。再び国民を富国強兵に導き戦前の道に引き戻そうとしている。同じ過ちをまた繰り返すつもりなのだろうか。私たちはこれまで沖縄平和研修や広島平和研修、アウシュビッツ平和研修などで戦争の悲惨さを学び、このようなことを2度と繰り返してはならないと学んだ。戦争で犠牲になるのはいつも罪のない市民や子供たちである。

私たちは組合員とその家族を戦争の犠牲には絶対させない。平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。私たちはあらゆる戦争やテロに反対する。憲法9条を守り、平和を脅かす一切の政策を許さず、子どもたちの未来に責任を持ち、平和・人権・民主主義を守るために、連帯するすべての仲間と共にJR東労組八王子地本はたたかい抜いていく。

以上、決議する。

JR 東労組 八王子地本  
第23回定期委員会にて満場一致で承認!

2022年2月26日  
東日本旅客鉄道労働組合  
八王子地方本部  
第23回定期委員会

八王子地本はあらゆる戦争にもテロにも反対!!  
多くの人々が犠牲になる軍事攻撃に断固抗議する!